

九州大学 先導的学術研究拠点
浅海底フロンティア研究センター
シンポジウム

最先端の浅海底地形図づくりとその活用

— 沿岸域の科学的理解と利用に向けて —

2018年1月20日 (土) 13:00~17:00
九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂 大ホール

入場無料

第1部 浅海底の地形図づくり —産学官の取り組み—

マルチビーム測深等を用いた浅海底の地形図づくりと
その学術利用

菅 浩伸 (九州大学 浅海底フロンティア研究センター、
九州大学 地球社会統合科学府)

航空レーザー計測による浅海底地形の三次元計測
寺岡 仁子 (アジア航測株式会社 計測技術部)

浅海域の水路測量 —新しい調査技術と海図の話—
松本 良浩 (海上保安庁 海洋情報部)

第2部 浅海底地形図の活用 —民間利用と学術展開—

浅海底地形図を使った沖縄海底遺跡ミュージアム構想
中西 裕見子 (大阪府教育庁 文化財保護課)

海底地形図の学際研究活用と日豪共同研究
プロジェクトJASAG

藤田 和彦 (琉球大学 理学部)

地図を使って多様性の中に秩序を見いだす
—ダーウィンの時代からの試み—

堀 信行 (首都大学東京 名誉教授)

RESEARCH CENTER FOR

Coastal Seafloor

KYUSHU UNIVERSITY

Photography © Hironobu Kan

本シンポジウムは下記科研費の成果の一部です。
平成28~32年度 科研費 基盤研究 (S) 16H06309
浅海底地形学を基にした沿岸域の先進的学際研究 —三次元
海底地形で開くパラダイム— (研究代表者: 菅 浩伸)